

山響



山形交響楽団
特別演奏会

Yamagata Symphony Orchestra
Special Concert

日本オーケストラ連盟
アートキャラバン

オーケストラ・キャラバン



ベートーヴェンの夕べ



指揮
阪哲朗
Conductor: Tetsuro Ban
©Kazuhiko Suzuki

オーケストラと
心に響くひととき

ピラノ
小山実稚恵
Piano: Michie Koyama
©Hidaki Otsuka

Program

- ◆ 序曲「コリオラン」ハ短調 作品62
- ◆ 交響曲第5番 ハ短調「運命」作品67
- ◆ ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調「皇帝」作品73



©Kazuhiko Suzuki

一関
公演

in Ichinoseki

2021 **8/3(火)** 19時開演
(18時開場)

一関文化センター

釜石
公演

in Kamaishi

2021 **8/4(水)** 19時開演
(18時開場)

釜石市民ホール TETTO ホールA

入場料

【全席指定】一般 3,000円 小中高生 1,500円 (当日各500円増)

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

チケット取扱い

一関公演 一関文化センター

TEL.0191-21-2121

一関/釜石公演 山響チケットサービス

釜石公演 釜石市民ホールTETTO TEL.0193-22-2266

(山形交響楽団事務局内)

公演についてのお問い合わせ

山響チケットサービス E-mail ticket@yamakyo.or.jp

TEL.023-616-6607 (土・日・祝日を除く10:00~17:00)

Facebook: yamagatasymphony

Twitter: @y_symphony

山響ホームページ www.yamakyo.or.jp



助成/文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業



L.V. Beethoven
オールベートル
プログラム

山形交響楽団 ベートーヴェンの夕べ

～オーケストラと心に響くひとときを～



©Kazuhiro Suzuki

指揮：阪 哲朗 Conductor : Tetsuro Ban

阪 哲朗は欧米での客演も数多く、おもにドイツ、オーストリアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている。日本においては、主要オーケストラ、新国立劇場、二期会などのオペラ団体を指揮している。

これまでに、ビール市立歌劇場専属指揮者、ブランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者、ベルリン・コーミッシュ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者、レーゲンスブルク歌劇場音楽総監督を歴任。現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術参与。2008/09年の年末年始に、ウィーン・フォルクスオーパーで、同劇場の年間のハイライトとも言うべき公演の「こうもり」を指揮したことは、大きな話題となった。

京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平氏らに師事。卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてK.エステルライヒャー、L.ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。山形大学での公開講座や東京芸術大学、国立音楽大学より特別招聘教授として招かれるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

95年プザンソン国際指揮者コンクール優勝。96年京都府文化賞奨励賞、97年ABC国際音楽賞、2000年京都市芸術新人賞、ホテルオークラ音楽賞、04年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、06年藤堂頭一郎音楽賞、20年京都府文化賞功労賞受賞。



©Hideki Otsuka

ピアノ：小山 実稚恵 Piano : Michie Koyama

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。

2017年までの『12年間・24回リサイタルシリーズ』は、演奏内容と企画性に於いて高い評価を受けた。2019年から『ベートーヴェン、そして…』がスタート。これまで、国内外の主要オーケストラ、国際的指揮者との共演も数多い。協奏曲のレパートリーは60曲を超える。東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひろば“ポレロ”」を開催。

CDは、ソニーから昨年リリースされ、「レコード芸術」特選盤に選ばれた初のベートーヴェンのソナタ録音『ハンマークラヴィア・ソナタ他』に続き、32枚目となるベートーヴェン・アルバム第2弾『ピアノ・ソナタ第30、31、32番』を2021年6月16日にリリース。著書に『点と魂と』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ「傑作の森」への道のり』、『ベートーヴェンとピアノ 限りなき創造の高みへ』がある。

これまで文化庁芸術祭大賞、東燃ゼネラル音楽賞本賞、文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞等を受賞。2017年度には紫綬褒章を受章。

“食と温泉の国の オーケストラ”



©Kazuhiro Suzuki

山形交響楽団 Yamagata Symphony Orchestra

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。2007年、飯森範親(2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立。2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。創立45周年を迎えた2017年4月には「モーツァルト交響曲全集CD」を発売、第55回レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。

2020年6月より、常任指揮者阪哲朗とともに「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」をスタート。全集DVD制作とインターネット配信を通じて、山響の新たな魅力を発信している。

芸術総監督 飯森範親、常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、創立名誉指揮者 村川千秋。
オフィシャル・ウェブサイト <http://www.yamakyu.or.jp/>

ご来場のみなさまへ

- 使用座席は、前後左右に1席ずつの間隔を空けて販売いたします。
- チケットの半券(裏面)に、ご来場のお客様の氏名と電話番号をご記入ください。来場者情報は、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合がございますので、予めご了承ください。
- 会場では「3密」を避ける行動をお願いいたします。
- マスクの着用(不織布マスクを推奨いたします)、咳エチケット、こまめな手指消毒または手洗いをお願いいたします。
- 咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。チケットは払い戻しいたします。
- ご入場時に検温へのご協力をお願いいたします。37.5度以上の場合はご入場をお断りさせていただきます。
- 出演者への花束やプレゼント等はお預かりできません。出演者への面会や、楽屋入り待ち・出待ちもお控えくださいますようお願いいたします。
- 接触確認アプリ(COCONA)ご利用へのご協力をお願いいたします。
- 感染防止策の実施により、通常よりもご入場にお時間をお頂戴することが予想されます。どうぞ、お時間に余裕を持ってご来場ください。

オーケストラ・キャラバンについて

本事業は文化庁の「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」の一環として行われるもので、文化芸術の質の向上と文化芸術の重要性や魅力を発信することにより、新型コロナウイルスの感染拡大による委縮効果乗り越え、文化芸術に対する需要喚起や業界全体の活性化を図ることを目的としています。オーケストラ・キャラバンでは日本オーケストラ連盟に加盟する21のオーケストラが参加し、全国37の会場で計47公演を実施します。